
コミセンおはなし広場

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 朗読や、ことばあそび等に親しみ、おはなしや朗読を聞く楽しみを発見する機会とする。
- 期 間 原則第一火曜日
平成29年4月4日（火）～平成30年3月6日（火）
（計10回）
- 時 間 午後3時20分～3時40分
午後3時45分～4時15分（計 8. 3時間）
- 対 象 市内在住の幼児と保護者及び小学生
- 参 加 者 参加延べ人数75人
- 講 師 赤いりんご朗読会
- 事業内容

回	月 日	人数	内 容
1	4月 4日（火）	5人	絵本2冊と紙芝居1冊を幼児向けに行った。
2	5月 2日（火）	5人	絵本2冊と紙芝居1冊を幼児向けに行った。
3	6月 6日（火）	8人	絵本2冊と紙芝居1冊を幼児向けに行った。
4	8月 1日（火）	8人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を小学生向けに行った。
5	9月 5日（火）	13人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。
6	10月 3日（火）	0人	参加者がなかったため、実施できなかった。
7	11月 7日（火）	10人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。
8	1月 9日（火）	7人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。
9	2月 6日（火）	17人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。
10	3月 6日（火）	2人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けに行った。

- ま と め
今年度も参加者は乳幼児が多く、小学生が少ない傾向が見られた。季節感を盛り込んだ内容で、子ども達は熱心に楽しんでいる様子だった。広報活動の方法や実施時間等について、今後実施団体と協議していきたいと思う。

コミセンおはなし広場なつのスペシャル ～ちょっと恐いおはなし会～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 毎月開催しているコミセンおはなし広場の夏の特別講座として、その内容を充実させ、子ども達に朗読やことば遊びに親しみ、おはなしや朗読を聞く楽しみを発見する機会とする。
- 期 間 平成29年7月20日（木）
- 時 間 午後2時～3時（計1時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生、幼児と保護者・50人
- 参加者 63人
- 講師 赤いりんご朗読会
- 事業内容 絵本「ドアがあいて」、紙芝居「たのきゅう」、ことばあそび「おばけおばけのかぞえうた」、絵本「のっぺらぼう」、人形劇「くわずにようぼう」

○ ま と め

1学期の終業式の午後に、毎年行なっており、主に小学校低学年を対象にしたおはなし会を実施した。

今回も毎月ボランティアでおはなし会を実施している赤いりんご朗読会に出演していただき、絵本、紙芝居、ことばあそび、人形劇等多彩な内容で行った。

新堀小・西堀小の1～3年生にチラシを配布し周知を図ったためか、通常のおはなし会では参加が少ない小学生に参加してもらうことができた。

低学年以下の子ども達は日本の伝統的な昔話を熱心に聞いたり、ことばあそびで一緒に歌ったりして、とても楽しそうに参加していた。

今回は中学年以上の子どもも何人か来てくれたが、内容が低学年向きだったので、途中退席する子がいた。今後は対象、年代別の対応について検討していきたい。

コミセンおはなし広場スペシャル クリスマスのおはなし会

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 毎月開催しているコミセンおはなし広場のクリスマスの特別講座として、その内容を充実させ、子ども達に朗読やことばあそび等に親しみ、おはなしや朗読を聞く楽しみを発見させる機会とする。
- 期 間 平成29年12月22日（金）
- 時 間 午後2時～3時（計1時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・50人
- 参加者 64人
- 講師 赤いりんご朗読会
- 事業内容 絵本「ゆきだるまのクリスマス」、朗読劇「こぐまのくまさん」、ことばあそび「クリスマスを楽しみにしている女の子」、人形劇「赤ずきんちゃん」、ブラックライトパネルシアター「あかはなのトナカイ」、「ジングルベル」、ほか

○ ま と め

この講座は毎年、2学期の終業式の午後に開催しており、西堀小・新堀小1～3年生に事前にチラシを配付したところ、小学生の参加も多く、今年度は幼児から小学生まで幅広い年齢の参加が得られた。想像力を必要とする朗読劇は幼児には少し難しかったようだが、人形劇やブラックライトシアターは皆熱心に見ていた。最後の歌は楽器を配って、子どもに参加してもらいながら、皆で合唱したが大変盛り上がった。

やはり、子ども達の集中力を持続させ、本や物語に関心を持ってもらうためには、単に見るだけでなく、子ども達に参加してもらう内容を盛り込むことが大切であると感じた。



春のおはなし会

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 春にちなんで、和楽器の演奏や朗読等に親しみ、お話や読書を聞く楽しさを発見する機会とする。
- 期 間 平成30年3月17日（土）
- 時 間 午後1時30分～2時30分（計 1時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・50人
- 参加者 53人
- 講師 おはなしカスタネット
- 事業内容 三味線、笛、太鼓の和楽器の演奏に合わせての合唱、手遊び、パネルシアター、クイズ、大型絵本、皿回し、南京玉すだれ等
- ま と め

今年も天候も良く、幼児から小学生まで、幅広い年齢の子ども達の参加を得られた。日本の伝統楽器である三味線や、笛、太鼓を使って、子ども達に馴染みのある童謡やアニメの曲を演奏してくれ、子ども達が和楽器に触れられる貴重な機会となった。

また、パネルシアター、大型絵本、南京玉すだれ等、子ども達を飽きさせないバラエティーにとんだ構成となっていて、子ども達から歓声が上がっていた。

最後は年齢別に分けた手作りの遊べるお土産も用意してくれたり、楽器も近くで見ることができたので、子ども達は大変喜んでいました。

やはり聞くだけでなく、合唱、クイズ、楽器体験等、子ども達自身が参加できる内容構成が大切であると感じた。



子ども体験教室 ～工作☆楽しく「迷路」をつくろう☆～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 夏休みの思い出に、ものづくりを体験する。
- 期 間 平成29年7月26日（水）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・20人
- 参加者 18人
- 講師 日本折紙協会講師 本多 秀子
- 事業内容 空箱を使って自由な発想で迷路を作る。
- ま と め

今年の子ども体験教室は「工作」を企画した。

夏休みの自由研究としても人気の高い工作は受講希望者も多く、定員をはるかに超える申込をいただいた。

当日はあいにくの雨模様であったが、欠席者も少なく和やかな雰囲気の中で行われた。

講師が大まかに「迷路」の作り方を説明した後、班分けしたテーブルごとに細かくアドバイスしてくれた。その甲斐あって子ども達は自由な発想のもと、のびのびと自分らしい迷路を完成することが出来た。

最後に、1人1人自分の作品の工夫点、アピール点を発表した。みんなで拍手。温かな空気に包まれた。また、講座で使用した材料のほとんどを講師にご用意いただいた。ビー玉、色紙、和紙、シール、スパンコールなどでより彩りきれいな迷路を作ることが出来た。夏休みのいい思い出にしてほしい。

子ども体験教室 「和食のおいしさを科学で探る!？」

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 夏休みの思い出に、ものづくりを体験する。
- 期 間 平成29年8月20日(日)
- 時 間 午前10時～午後1時30分(計3・5時間)
- 対象・定員 市内在住の小学生・16人(小3以下は保護者同伴)
- 参加者 23人
- 参加費 材料費1,000円
- 講師 キッチンの科学プロジェクト(KKP)
- 事業内容 和食作りを通して、料理にも科学があることを楽しく学ぶ。
- まとめ

「光る納豆&光るゼリーを作ろう」をサブタイトルとして、子ども達に日本の伝統的な食文化である和食のおいしさを、科学を通して楽しみながら学んでもらった。

講師を務めるキッチンの科学プロジェクトは、楽しい科学実験を通して子ども達に食の大切さを伝えている団体である。

献立は①ご飯を鍋で炊く②出汁をとって味噌汁を作る③納豆オムレツ④めかぶの酢の物⑤光るゼリーとした。出汁の勉強や味比べなど普段なかなか出来ない経験は子ども達にとって新鮮だったと思う。

クイズに答えたご褒美にもらった昆布は子ども達に大好評だった。また、子どもに苦手かと思われた納豆やめかぶも調理方法で食べやすくなり、好評であった。

講座の一番人気は「光る納豆、光るゼリー」だった。ビタミンB2が含まれる食品に強い光のブラックライトをあてると光る。納豆をひく糸が光をおび、ゼリーが光ると子ども達の目もキラキラ輝いた。楽しい夏休みの思い出にしてほしい。

わかば学級企画準備会

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 2・3歳児とその保護者のための講座「わかば学級」の学習プログラムを企画する。
- 期 間 平成29年5月11日（木）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 5人
- 参加者 4人
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	5月11日（木）	顔合わせ・日程・回数・内容・講師

○ま と め

広報で公募したが応募者がなかったため、保育サポーターさんに依頼して参加していただいた。

毎年、わかば学級はカテゴリー別に若いお母さん達に人気の高いもの、役にたつもの、勉強になるものなどを考慮して選んでいる。

今年もまた友達作りができるような、みんなで楽しめる内容のものを取り入れた。

1回目で全6回の内容が決まり、2回目までに講師の方に内諾をいただいたので、2回目は参加者に電話での了承をいただき、1回で終了とした。

みんなが子育てを楽しんで、前向きになれるようなわかば学級にしたい。

わかば学級

～がんばるママ達の応援講座～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 育児は多忙を極めるが、時には子どもと離れ、多彩なプログラムでリラックスして楽しみながら学び、子育ての仲間づくりをめざす。
- 期 間 平成29年9月21日～10月26日までの毎週木曜日（計6回）
- 時 間 午前10時～正午（計12時間）
- 対象・定員 市内在住の2歳～就学前までの幼児と保護者・20組
- 参加者 20組 参加延べ人数91人
- 保 育 20人 参加延べ人数89人
- 参加費 実習材料費 1,100円
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師 等
1	9月 21日（木）	体操教室	体操講師 中山 貴子
2	9月 28日（木）	家族も笑顔になる愛されママレッスン	ベビーキッズマッサージアドバイザー 長山 幸恵
3	10月 5日（木）	料理教室（美味しいスピードクッキング）	サークル講師 前田 純子
4	10月 12日（木）	親子でコンサート	アンサンブルユニットファイφ 代表 堀家 徳子
5	10月 19日（木）	手作り教室（通園レッスン バッグ作り）	パッチワークキルトつるし飾り講師 三ツ矢 美代子
6	10月 26日（木）	大人の読み聞かせ＆ハロウィンパーティー	おはなしカスタネット 代表 新保 藤子

○ま と め

今年は早めに募集したことが功を奏したのか、定員を上回る申し込みをいただいた。

内容は企画準備会で検討し、子育て中のお母さん達に役立つものをジャンル別に選択した。

アンケート結果から、身体を動かす講座や料理、音楽講座が人気であった。やはり、普段子育てに忙しいお母さん達にとって、癒やしやリフレッシュできる時間が大切なのだと思う。

もっと回数が多くてもいいというご意見もあった。

今年は保育で泣く子も少なかった。保育サポーターさんの行き届いた保育のおかげで、子ども達も毎回楽しそうに参加してくれた。お母さん達も安心して預けられ、講座に打ち込めたと思う。

最後は親子一緒のハロウィンパーティーで盛り上がり、みんなで楽しく「わかば学級」を終えることができた。仲間作りの一端を担えたと思う。

C o₂削減 緑のカーテンで夏をすずしく

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 ゴーヤ等で緑のカーテンを作る方法を学び、環境対策について考える。
- 期 間 平成29年6月15日（木）
- 時 間 午後2時～4時（計2時間）
- 対象・定員 市内在住・在勤の方 15人
- 参加者 8人
- 講師 環境まちづくり地域協議会 in にいざ 代表 櫻 博子 他
2名
- 事業内容 C o₂削減等環境問題について学び、緑のカーテンを作る方法を学び、ゴーヤの苗を配布する。
- ま と め

市内公民館・コミセン5館（中央・栗原・栄・大和田・西新）で共同のポスター・チラシを作成し、参加者の募集を行った。複数館が共同実施する形式は3年目を迎えたが、すでに受講した方が多いためか、例年に比べ応募者が少なかった。

当日はゴーヤのグリーンカーテンを作る際の土壌作り、摘芯、水のやり方、最適なネットの選び方等を、具体的に説明していただいた。

質問にも丁寧に答えてもらったため、「大変わかりやすく勉強になりました。」等の声が上がっていた。講座終了時にゴーヤの苗を配布してもらった。「大事に育てます。」と意気込みを語ってくれる参加者が多かった。

近年問題となっている気候変動の深刻さの説明もあり、1人1人が環境問題に関心を持ち、できることから取り組む事がいかに大切か学ぶ事ができた。



石神を歩く

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 地域の昔を知るフィールドワーク
- 期 間 平成29年11月18日(土)
- 時 間 午前9時30分～午後0時30分(計 3時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 11人
- 講師 生涯学習スポーツ課学芸員
- 事業内容 西堀・新堀コミュニティセンターから石神周辺までの旧跡を歩きながら学ぶ。

【当日順路】西・新コミセン→滝見観音堂→日本最初板紙工場跡→新井米店水車(外側から)→石神稻荷→釈迦堂→西・新コミセン

○ ま と め

地域の歴史を知るフィールドワークとして、毎年コースを変えて継続的に実施している事業であり、今年度は西新コミセンから石神周辺までの名所・旧跡を歩いた。応募者数は例年に比べ多かったが、当日雨が心配されたためか、欠席が多く残念だった。

滝見観音堂、日本最初板紙工場跡、釈迦堂等、地域の貴重な文化財を市学芸員の説明を受けながら学んだ。

時折小雨の降る天候だったが、参加者は非常に熱心で、質問する方も多かった。終了後、郷土史に関する講座をまた開催してほしいという声が多く聞かれた。

フラワーアレンジメント講座 ～アートフラワーで作る X'mas リース～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 クリスマスにあわせて、アートフラワーでクリスマスリースを作る。
- 期 間 平成29年12月6日(水)
- 時 間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 15人
- 講師 厚生労働省認定一級フラワー装飾技能士
日本家庭園芸普及協会認定グリーンアドバイザー 永島 美雪
- 参加費 材料費1,500円
- 事業内容 アートフラワー(造花)でクリスマスリースを作る。クリスマスが終わっても、通年飾って楽しめるようにそのアレンジ方法も学ぶ。



○ま と め

季節にあった講座ということもあるのか、講座受付開始日に定員いっぱいになった。その後もたくさんの方からお申し込みをいただいた。季節感のある手作り講座の人気の高さを感じる。

講座当日は、欠席者もなく、早くから来館された方もいて、意気込みが感じられた。

講師の行き届いた準備とご指導により、みんながスムーズに作成できた。見本を参考にしながら、それぞれ自己流にアレンジして、オリジナリティ溢れる素敵なクリスマスリースが出来上がった。ただ、参加者の中には、生花で作るものと思って参加された方もいて、伝達不足を反省する。

アンケートでは、ほとんどの方から「とても楽しかった」「ていねいな説明でわかりやすかった」「また違ったアレンジメントをやってほしい」とご好評をいただき、皆さんに楽しんでいただけたことが窺える。

出来上がったクリスマスリースを飾って、素敵なクリスマスを迎えていただきたい。

デジタル写真講座 ～パソコンでデジタル写真を楽しく編集～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 デジタル写真をパソコンで加工・編集する技術を学び、オリジナルの作品を作成する。
- 期 間 平成30年2月27日（火）～3月2日（金）
- 時 間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤でWordで文章を作成できる方・10人
- 参加者 10人 延べ参加人数36人
- 講師 パソコン指導者ボランティアサークル・パソボラいるか
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	2月27日（火）	写真をパソコンに取り込む
2	2月28日（水）	写真の編集（「Windows フォト」ソフトによる編集）
3	3月 1日（木）	写真の編集＋自分流のアルバムの作成
4	3月 2日（金）	自分流のアルバムの作成

○ま と め

講師作成のテキストを使用して、「Windows フォト」ソフトによるデジタル写真の加工・編集方法について学んだ。スマホ・携帯の写真はPCへの取り込み方が機種により異なるため、今回は主にデジカメで撮影した写真を、SDカードで参加者に持参してもらい、自分流のアルバムを作成した。

他館で実施した同様の講座の状況から、今回は定員を10名に絞ってみたが、参加者はパソコンに不慣れな方も多かったので、適切な人数であった。パソボラいるかのメンバーが毎回4～5人アシストについて、1人1人丁寧に対応してくれたため、大変わかりやすかったと好評だった。PC関連の講座を今後も開催してほしいという声があがっていたので、高齢の方やパソコンに不慣れな方に対応した講座を検討していきたい。

インカ文明を訪ねる ～アンデスの世界遺産マチュピチュ～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 グローバル化が進む現代社会に必要とされている異文化を理解する力を育てる。
- 期 間 平成30年2月1日（木）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 50人
- 参加者 32人
- 講師 東海大学教授 大平 秀一
- 事業内容 ペルー、ボリビア、エクアドルを中心とする南アメリカ北西部に存在した、世界遺産マチュピチュを有するインカ文明について、長年遺跡発掘調査を行ってきた講師から話を聞く。
- ま と め

講座の相乗効果を期待し、前週に南米の民族音楽コンサートを開催したところ、本講座の申込み者中、両方の講座に申し込んだ人が62%いた。

講座では現在も年に何回も南米に行き、現地の方と共に生活しながら調査研究を行なっている講師から、アンデスの自然環境や地理、リアルで生き生きとした人々の宗教観や思想について、ユニークな語り口での説明があった。それをふまえた上で、インカ文明や世界遺産マチュピチュについて、映像を多用してわかりやすく話していただいた。現地で今も行なわれている祭りの映像も見せていただいたが、中世～近世の異なる宗教や文化の侵攻の歴史が色濃く表れていて、非常に考えさせられる内容だった。

参加者からは「観光で行く南米からは感じられない奥深い歴史、社会を知る事ができ、とても良かった」等の意見が寄せられ、好評であった。

スイーツで作る童話の世界 ～お菓子の家づくり～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 地場産野菜を使用して、童話の世界をスイーツで作ることによって、地場産野菜の良さを知るとともに幅広い年代層の参加を得る。
- 期 間 平成30年3月7日（水）
- 時 間 午前10時～午後1時（計3時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 20人
- 講師 管理栄養士 鈴木 香
- 参加費 材料費500円
- 事業内容 地場産の野菜を使って、お菓子の家を作る。
- ま と め



地場産の人参とほうれん草を使用したお菓子作りを実施することによって、地場産野菜の良さを伝えるとともに、調理を通じて地域交流を図ることを目的に実施した。

当日は、4班に分かれて作業を行なった。幅広い年代の参加が得られ、対面でもお菓子作りをテーマに会話がはずんでいる様子が見られた。

参加者からは「楽しかった」「また作ってみたい」等の声が聞かれた。

しかし、クッキー生地型の型どりとオーブンで焼く時間が当初の予定より多くかかり、終了時間が30分ほど延びてしまった結果、試食の時間が無くなってしまった。

パーツで組み立てが終了しない人もいたので、余裕を持った時間設定が必要だったと思われる。また、備品に壊れているものがあったので、次回は事前に細心のチェックを行ないたい。

女性のためのカルチャールーム

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 女性の教養講座として様々な分野の芸術や健康法を体験学習し、自分を高める方法を見つけよう。
- 期 間 平成29年6月14日(水)・30日(金)(計2回)
- 時 間 午前10時～正午(計4時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の女性 20人
- 参加者 20人 参加延べ人数 31人
- 保育 7人 保育延べ人数 11人
- 講師 拳粋会 宮越 京子
- 事業内容 6/14(水) リズムキックボクシング
6/30(金) 骨盤調整 with 体幹トレーニング
- ま と め

最近、女性に人気の高いキックボクシングや体幹トレーニングを講座にした。2回連続の講座であったがキックボクシングはハードなイメージがあるのか、体幹トレーニングのみを希望する参加者が多かった。

キックボクシングでは、音楽のリズムに合わせてストレッチやキックの練習を行い、後半、実際に講師のミットにパンチ、キックをした。日頃のストレスの発散になったと思う。

骨盤調整と体幹トレーニングでは、骨盤周りのインナーマッスルを鍛えた。普段あまり使わない筋肉を目覚めさせ、動かせたのではないかと思う。継続してやっていくことで、骨盤周りの筋肉のバランスがとれて、正しい姿勢や腰痛の改善も得られるという。ぜひライフワークのひとつに取り入れていただきたいと思う。

ロビーコンサート

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 昭和60年11月1日の西新コミセンの開館記念日にあわせてサークルが中心となってロビーで演奏し、一般の方達に気軽に音楽を楽しんでもらう。
- 期 間 平成29年11月11日（土）
- 時 間 午後1時30分～3時（計1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 95人
- 出演団体 ギターサークル・フェリース、女声コーラス”風”、コール・リーベ、アンサンブル”ママン”（フルート：降旗咲子、クラリネット：鈴木恵美）

○ プログラム

	団体名	演奏曲目
1	ギターサークル・フェリース	アンダンティーノ、緑の木陰にて、MR. LONELY～MEMORY
2	女声コーラス”風”	小さな木の実、花の季節、泉のほとり、夜明けの歌 おかあさん、ほたるこい、ふるさと
3	コール・リーベ	Dona Nobis Pacem、コーヒーのカノン、みえない手紙 こころ、小さな空、野の花の姿、いざめざめよ、花は咲く
4	アンサンブル”ママン”	ドレミの歌、シンコペーテッド クロック、子象の行進 愛の喜び、シャンソン メドレー、いつでも夢を

○ ま と め

ロビーコンサートも今年で7回目を迎えた。今年は洋楽のサークルさんにご出演いただいた。当日は天気にも恵まれ、たくさんの方にご来場いただいた。

各サークルさんは、日頃の活動の成果を十分に発揮して、コンサートを盛り上げてくれた。ゲストには、「よちよち広場」に参加してくれた二人の保護者の方が、音楽活動をされているというので、出演の打診をしたところ、快諾いただきご出演いただいた。お二人のフルートとクラリネットの二重奏は、どの曲も馴染みのあるポピュラーなもので、みんなで楽しむことができた。楽器の説明や音などを簡単な曲で紹介してくれ、普段あまり馴染みのないフルートやクラリネットが身近なものに感じられた。

最後はみんなが知っている曲を演奏にあわせて歌い、大盛況のうちにロビーコンサートの幕は閉じた。皆さんに午後のひとときを寛いでいただけたと思う。

公開講座 年の輪寄席

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 「年の輪学級」で評判の良い、「落語」をより多くの方に受講してもらい、「笑い」から健康を得る。
- 期 間 平成29年11月16日（木）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（計2時間）
- 対象・定員 年の輪学級参加者と市内在住又は在勤の方 30人
- 参加者 57人
- 講師 三遊亭圓王、三遊亭王笑、三遊亭端王、三遊亭三久
- 事業内容 真打 三遊亭圓王師匠他、社会人落語家「三遊会」による寄席
- ま と め

真打 三遊亭圓王師匠と社会人落語家3人による寄席を行ったが、当日は皆古典落語を堪能し大満足であった。

年の輪学級の公開講座として例年実施しているが、今回は定員を上回る応募があった。

当日欠席者が多かったのは残念だが、参加者からは「楽しい一時だった」という意見が多かった。

人権研修会

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 公民館利用団体代表者を対象に人権について学習する。
- 期 間 平成29年12月2日（土）
- 時 間 午後1時30分～2時（計 0.5時間）
- 対 象 西堀・新堀コミュニティセンター利用団体代表
- 参 加 者 35人
- 事 業 内 容 DVD鑑賞 「ここから歩き始める」
- ま と め

利用者懇談会に合わせて研修会を開催した。

「認知症を共に生きる」というテーマのもとに「ここから歩き始める」というDVDを鑑賞した。

高齢化が急速に進んでいる現代で、高齢者が地域で幸せに暮らしていくために大変重要な課題である認知症対策について考える貴重な機会となった。

午後の音楽会 ～南米フォルクローレコンサート～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 南米の民族音楽をプロの演奏家の演奏で楽しむとともに、南米文化の紹介を行ない、異文化への理解を深める。
- 期 間 平成30年1月28日（日）
- 時 間 午後1時30分～3時（計1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・80人
- 参加者 88人
- 講師 ケーナ奏者 高橋 マサヒロ、ギター奏者 飯泉 昌宏
- 事業内容 ケーナ、サンポーニャ、チャランゴ、ボンボ、ギター等の演奏と南米文化の紹介
- ま と め

南米の民族楽器であるケーナやチャランゴ等の演奏を通して、南米の音楽を楽しむとともに、南米の民族や風土等について知り、異文化へ関心を持ち理解を深める機会とすることを目的に開催した。

事前に出演者から南米で撮影した写真をお借りし、ロビーに展示するなどPRを図ったところ、当初の予定を上回る参加申込みがあり、出演者に了解のうえ、100名まで受付することとなった。

当日は南米の民族音楽だけでなく、馴染みの深い日本の名曲も入れてもらい、合計16曲を演奏していただいた。

演奏に合わせて、現地の映像も写したところ、「イメージがふくらみ良かった」という声が聞かれた。珍しい楽器の紹介や、現地の歴史、人々の暮らしについての話もあり、演奏とともに大変好評だった。

参加者は70代以上の方が多く、高齢の方が地域で音楽鑑賞ができる場として、楽しみにしていただいていることを感じた。ただし、客席後方の人から、「楽器紹介が見えなかった」等の意見が聞かれたため、来年度以降の改善点としたい。

よちよち広場

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 よちよち歩き出し、「みるく広場」を卒業した赤ちゃんとお母さんたちの新しい出会いとコミュニケーションの場を提供する。
- 期 間 平成29年4月11日～平成30年3月13日の第2火曜日
(計11回)
- 時 間 午前10時～11時30分(計 16.5時間)
- 対 象 市内在住のよちよち歩きから1歳半前後の乳児と保護者・15組
- 参 加 者 26組(参加延べ人数36組 72人)
- 講 師 NPO法人新座子育てネットワーク
- 事業内容

回	月 日	人数	内容
1	4月11日(火)	5組	バルーンアート・フリートーキング等
2	5月9日(火)	4組	手作り楽器とリズム遊び・フリートーキング等
3	6月13日(火)	5組	京花紙遊び・フリートーキング等
4	7月11日(火)	3組	野菜スタンプ・フリートーキング等
5	9月12日(火)	4組	手形スタンプ遊び・フリートーキング等
6	10月10日(火)	3組	からだを使った遊び(ミニ運動会)
7	11月14日(火)	1組	読み聞かせ・フリートーキング等
8	12月12日(火)	1組	おもちゃの話しと手作りおもちゃ・フリートーキング等
9	1月9日(火)	2組	感覚遊び(小麦粉粘土)・フリートーキング等
10	2月13日(火)	1組	新聞遊び・フリートーキング等
11	3月13日(火)	7組	パラバルーン遊び・フリートーキング等

○ ま と め

今年度の「よちよち広場」は参加者が前年度の半分になってしまった。仕事に復帰するお母さんが多かった事も一因であると思うが、来年度はもう一度見直しをはかりたくさんの方に参加していただけるように広報活動していきたいと思う。そして、これからもお母さん達が仲間と楽しい子育てができるようにサポートしていきたい。

みるく広場

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 0歳児を対象に、子育てのヒントを得たり、親子の仲間作りをめざし、地域の子育てを考える。
- 期 間 平成29年4月19日～平成30年2月21日の第3水曜日
(計10回)
- 時 間 午前10時～11時30分(計15時間)
- 対 象 市内在住の生後1ヶ月位からハイハイまでの乳幼児と保護者
20組
- 参 加 者 32組(参加延べ人数68組 136人)
- 講 師 NPO法人新座子育てネットワーク
- 事 業 内 容

回	月 日	人数	内容
1	4月19日(水)	5組	手遊び、絵本の読み聞かせ、自己紹介グループに分かれてフリートーキング
2	5月17日(水)	7組	
3	6月21日(水)	2組	
4	7月19日(水)	6組	
5	9月20日(水)	9組	
6	10月18日(水)	10組	
7	11月15日(水)	6組	
8	12月20日(水)	7組	
9	1月17日(水)	7組	
10	2月21日(水)	9組	
	※3月は祝日のためお休み		

○ ま と め

お母さん達同士が子育ての悩みや不安を話し合ったり、いろいろ情報交換して仲間作りをしている。これからもその出会いの場を提供していきたい。

シニア向けはじめてのスマートフォン教室

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 シニア向けに、インターネット社会でコミュニケーションを図るためのきっかけとしてスマートフォンの操作を学ぶ。
- 期 間 平成29年5月25日（木）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（計 2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方・20人
- 参加者 19人
- 講師 KDDI（株）認定講師
- 事業内容 スマホと携帯の違い、基本操作、電話の仕方、メール、インターネット・アプリの安全な活用、災害対策、スマホの選び方（アンドロイドOSを使用）
- ま と め

主に60才以上のスマートフォン初心者の方を対象に、スマートフォンの基本操作や安全対策について学ぶ講座を実施した。スマホ講座は人気が高く、申込み順で受付の場合、これまでは早期に定員満了となっていたため、今回は公開抽選で参加者を決定した。

昨年度に引き続き、KDDI（株）CSR事業である「スマホ・ケータイ安全教室」に講師派遣をお願いし、1人1台ずつスマホを貸し出してもらって、実際に操作しながら、丁寧に指導していただいたので、参加者の満足度も高い様子だった。

参加者の年代層は年々上がっており、今回も70才～80才代の方が半数以上いた。また、半数の方がすでにスマホを所有しており、今後はアプリやインターネットの使用方法等、応用編に需要が高まっていると感じた。

シニア向けスマートフォン防災対策活用講座

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 シニア向けに、スマホの基本操作やインターネットの利用方法、防災に活用できるアプリ等を知ることによって、災害時身近にあるスマホを防災対策に上手に活用する方法を学ぶ。
- 期 間 平成29年9月1日（金）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方・20人
- 参加者 18人
- 講師 KDDI（株）認定講師
- 事業内容 スマホの基本操作、インターネット活用、市・県の対策、防災に活用できるアプリ、災害用伝言板体験

○ ま と め

災害時に自分自身や身近な人の身を守るために、スマートフォンの役立つ使い方を学ぶことを目的に防災の日に開催した。

参加者は年代別にみると60代7名、70代11名、80代1名だった。最近のスマホ講座の参加者は60代後半から70代がメインとなっている。

1人1台ずつスマホを貸し出してもらい、前半に基本操作を学習し、後半で防災活用について学んだ。スマホを持っていない方が数名いたので、基本操作を学習する段階でとまどう方もいた。災害時にインターネットを使い情報を収集する方法や、活用できるアプリについての照会も行った。また、実際にスマホを使用した災害用伝言板も体験してもらい、防災対策について考える良き機会となった。



年の輪学級 2017

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 熟年時代を迎えたみなさんが、地域交流によって、人生をさらに充実させるための場を設ける。
- 期 間 平成29年10月12日～11月30日までの毎週木曜日
(11月23日(祝)を除く)(計6回)
※公開講座「年の輪寄席」は18ページに掲載
- 時 間 午後1時30分～3時30分(計18時間)
(館外学習は午前8時30分～午後4時30分)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方 40人、館外学習は30人
- 参加費 館外学習は実費負担、寄せ植え材料費 900円
- 参加者 36人 参加延べ人数 165人
- 講座内容

回	月 日	内 容	講 師
1	10月12日(木)	笑って脳トレ!いきいき体操	健康運動指導士 中村 真奈子
2	10月19日(木)	浮世絵と印象派	清泉女子大学講師 武藤 純子
3	10月26日(木)	知っておきたい認知症予防と地域の取り組み 「リアル野球盤で健康長寿!」	西堀・新堀高齢者相談センター職員 埼玉西武ライオンズ事務局
4	11月 2日(木)	館外学習 上野の歴史と美術探訪(上野公園・国立西洋美術館)	台東区観光ボランティアガイド
5	11月 9日(木)	春まで楽しめる寄せ植え作り	日本家庭園芸普及協会認定グリーンアドバイザー他 永島 美雪
6	11月30日(木)	川柳に見る江戸の人々	全日本川柳協会常任幹事 高鶴 礼子

○ ま と め

この講座は毎年楽しみにしてくれているリピーターも多く、地域デビューのきっかけ作り、地域での仲間づくりも大きな開催目的となっているので、参加者同士がコミュニケーションをとれる内容をさらに充実させていきたい。